Hanazono University 後援会通信
ーひしょうー
hisyou
2020.2 No.58

花園大学 〒604-8456 京都市中京区西ノ京壺ノ内町 8-1 Tel.075-279-3630（直通）Fax.075-823-2412 後援会事務局

ご挨拶

～花園大学創立150周年記念事業によせて～

花園大学後援会　会長　寺町宗明

後援会会員の皆様には、日頃より後援会の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

花園大学は、おかげさまで来る2022年に創立150周年を迎えます。創立150周年に当たり、「花園大学ZEN to you & you中期ビジョン2021」に基づくキャンパス整備事業の一環として、老朽化した施設・設備を更新し、学生の主体性・積極性を引き出す学習環境や、サークル活動など学生生活の環境整備が進められています。学生にとって安全で快適な学習環境が整備されることは、後援会としても大変ありがたく、そして喜ばしいことだと思っております。

ぜひ後援会会員のみなさまには、これらの事業の趣旨をご理解いただき、後援会として取り組みを進めていければと考えておりますので、ご支援をお願いする次第です。

計画されているキャンパス整備事業

■返照館改築

返照館（1977年築）は、老朽化に加えバリアフリー上の課題があるため、新たに本キャンパスの主力教室棟ととして改築されます。教室にはアクティブ・ラーニングによる授業展開を支援するICT環境やグループワーク等にも柔軟に対応できる什器備品など最新の学習環境を整備されるとともに、バリアフリーやアメニティ環境にも配慮した計画となっています。

■西門整備

2013年に拡幅された西小路通に面して、新たに大学の顔となるよう西門が整備される予定です。

■新学生会館・グラウンド整備

学生会館（1977年築）を取り壊し、学生のサークル活動・体育活動を充実させるため、新たな学生会館をグランド横に建設。グラウンドは人工芝になります。

◀新返照館完成イメージ図

グラウンド校舎▶イメージ図

ご挨拶

学長　丹治 光浩

近年の科学技術の進歩には目を見張るものがあります。自動運転技術は遂に実用化のレベルに達しましたし、移動通信システムはあっという間に4Gから5Gの時代に入りました。また、AI（人工知能）が家庭電化製品の中に当たり前のように組み込まれることで、私たちはこれまでになく快適な生活を送ることができるようになりました。いずれ人は考える必要さえなくなってしまうかと思うくらいです。

一方、昨年は未曽有の自然災害に悩まされた一年でしたが、これからも温暖化による気候変動が続くと予想されます。さらに、経済格差（貧困）が世界的に広がり、相変わらず国際紛争も頻発しています。ただ、重要なことはその多くが人間の営みによって生じた結果であることです。私たちはその責任を十分に考え、これからの生活を送らなければなりません。

では、激変する現代社会の中で、私たちはすべてを変えていかなければならないのでしょうか。アメリカの神学者ラインホルド・ニーバーが「変えられないことを受け入れる慎みを、変えるべきことを変えていく勇気を、そしてこの二つを見分ける知恵を与えてください」という言葉を残しているように、このような時代だからこそ、私たちは変えてはならないものをしっかり守り抜くことが重要なのかもしれません。

大学の場合はどうでしょうか。18歳人口の減少と進学率の頭打ちを背景に統廃合や定員規模の見直しが進む一方で、多くの大学はサスティナブルな運営をめざし、さまざまな改革を実行しています。本学も現在、将来構想委員会の答申を受けて、いよいよ本格的な改革に取り組もうとしているところですが、建学の精神である「禅的仏教精神による人格の陶冶」は決して変えられることなく堅持してきました。近年、禅仏教がさまざまな分野で見直され、注目されていることからもわかるように、これからも花園大学の存在意義は決して失われることはないでしょう。私たちに必要なことは、こうした普遍的な真実をいかにわかりやすく学生に、そして社会に伝えるかを模索することなのです。

後援会の皆様には、引き続き一層のご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

花園大学公開講座「禅とこころ」は、どなたでも受講可能です。

— 花園大学公開講座 —

禅とこころ

2020年4月14日開講
毎週火曜日10:40～12:10 教堂にて

学んでみたい内容がございましたら、どうぞご来校ください。
※2020年度の予定は、大学HPでご案内いたします。
※申込不要、無料です。満席の場合はご入場いただけないことがあります。また、会場を一部変更する場合もございますので、ご了承ください。

概 要

本学の「建学の精神」である禅仏教による人格の陶冶をテーマに開設しています。般若心経の読経、教堂の祈りに始まり、いす坐禅を行ってから、各講師による法話・講義を行います。

問い合わせ先

学務課
TEL：075-823-0583
平日9:00～17:00

参考

以前の開講内容はこちらをご覧ください。（動画あり）

就職課便り

就職課では人材育成も含めた就職支援をおこなっています

本学では就職活動を単に内定を獲得することだけを目的にするのではなく、建学の精神「禅的仏教精神による人格の陶冶」に基づき、自ら考え、行動することで将来につなげていくプロセスと捉え、年間を通じて様々なプログラムを実施しています。

キャリア科目「キャリア・デザイン」や「インターンシップ」は、自分や社会のことを理解し視野を広げることを目的として開講しています。社会で活躍する卒業生や企業担当者から仕事のやりがいや経験談を聞く機会を設けるとともに、実習等を通して社会と関わることで職業観を醸成するなど、リアリティのある内容となっています。

文学部と社会福祉学部を設置している本学では進路が多岐に渡り、一般企業、福祉業界、幼稚園・保育園、教員、公務員など幅広い就職先があります。そのため学生自らが考え、選択することができるよう、本学の強みである「学生と教職員が顔の見える距離」で寄り添い、個別の面談でサポートをしています。

3回生対象の就職ガイダンスは年間を通じて開催しており、春期休暇には、マナー講座や筆記試験対策など就職活動に特化した内容のものを実施しています。また、100社近い企業・福祉事業所と出会える学内就職説明会を毎年開催しており、内定獲得に至る事例も多く、年間で最大の就職イベントとなっています。

全回生対象プログラムとして、教員志望学生には教育委員会主催の学内説明会を、公務員志望学生には行政職・警察官・消防官などの業界ガイダンスを実施しています。このほかにも行政機関や外部専門機関と連携した各種資格講座も実施しています。

人生100年時代を生きるため、進路選択を通して自ら考え抜き、前に踏み出す力をつけていけるような支援策をこれからも届けてまいります。

2019年度就職・教育懇談会ご報告

2019年10月26日、後援会・大学共催にて、就職・教育懇談会を開催、66組91名の保護者のみなさま方にお越しいただきました。午前には教堂にて、丹治光浩学長、秦美香子就職部長の挨拶の後、京都ジョブパーク学生支援センターの中川高志氏を講師に迎え「最近の就活事情と関わり方について～地域（地元）でハタラク！という選択～」というテーマで約1時間講演いただき、午後からは、就職・進路に関する相談、クラス担任相談、成績・単位取得状況に関する相談、学生生活に関する相談など、個別相談を行いました。就職・教育懇談会は、学園祭と同時開催がスタートして3年目。今年も模擬店で利用できる500円分のチケットをご用意いたしました。秋晴れの中庭で、学園祭を楽しんでおられる保護者の姿も見られました。

2019年度京花祭

～ご協力ありがとうございました！～

花園大学学園祭「京花祭」にお越し頂いた皆様、ご来場ありがとうございました。今年度から実行委員が新たな団体となったこともあり、至らない部分も多くあったこととは思いますが、皆様のおかげで無事に終えることが出来ました。

今年度は、仮面ライダーショーやバケツ太鼓など、子どもを対象とした催しを多く取り入れており、そのためか親子での参加者が多くみられたように思います。その他にも学生の保護者のみなさんの参加も多く、花園大学同窓会学園祭支援プログラムとして、ラジオ関西公開録音も開催され、例年より来場者を増やすことに成功致しました。笑顔があふれる2日間として皆様の思い出になれば幸いです。

学園祭は大学、学生だけではなく、地域の方々と協力して成り立っているものだと感じた次第です。来年度も地域に根ざした学園祭を心掛け、より多くの皆様に笑顔を届けられるように尽力いたしますので、ご理解ご協力のほど、お願い致します。

最後になりましたが、京花祭開催にあたりご協力いただいた花園大学同窓会、花園大学後援会、教職員の方々、学生、関係者の方々に心より感謝申し上げます。

大学摂心 開催

後期授業が始まる前の9月19日（木）～20日（金）毎年恒例の大学摂心を開催しました。

2日間の日程で、初日には大本山天龍寺様の友雲庵と禅堂をお借りし、2日目は花園大学の禅堂、教堂にて実施致しました。

開催の3ケ月前、6月中旬に大学摂心参加者募集を開始し、当日は一般学生5名、弓道部員10名、剣道部員5名、新体操部員15名、花園禅塾塾生29名、科目等履修生9名、本学教職員31名、計104名という多くの参加者により開催することができました。

摂心の直日（坐禅指導）は仏教学科の寳積玄承客員教授にご担当頂き、僧籍を有する大学職員8名ならびに花園学園宗教チームの僧籍者3名が助警・典座・殿司・聖侍の役配を担当しました。

初日

初日は天龍寺友雲庵に於いて、天龍寺派管長佐々木容道老大師による御法話を頂戴しました。その後、友雲庵と禅堂に分かれて坐禅を行ない、歴史ある諸堂拝観をさせていただきました。9月半ばといえば近年まだ残暑厳しい頃ですが、この日は爽やかな秋晴れと、吹き抜ける風とで最高の坐禅日和となり、学生・教職員共々、いい経験となりました。

二日目

2日目は禅堂で坐禅を行なった後、教堂で横田南嶺花園大学総長の提唱を拝聴しました。その後、斎座（昼食）はふるーる（学食）で饂飩供養を行い、僧堂の作法に則った形式で饂飩を頂きました。また今年度も昨年度に引き続き、摂心終了後に希望者と横田総長との懇談会を行いました。計40名の学生達はそれぞれ勉学だけでなく、普段感じている疑問や、人生に関わる諸問題について質問し、総長から貴重なご意見やアドバイスを頂戴し刺激を受けたようです。

第三十三回 花園大学 人権週間報告

第33回花園大学人権週間を2019年12月2日～5日の日程で開催しました。

今回のプログラムは、前夜祭・映画『いのちの深呼吸』上映、佐々木閑さん「ネットカルマ―現代社会の新たな苦悩」、玉置妙憂さん「仏教と看取り～終末期のスピリチュアルケア」、根本一徹（僧名：紹徹）さん「『死んでる場合じゃないぞ！』～消えたい気持ち。様々な生死観から見えて来たこと～」の3本の講演です。今回は「仏教と人権」を統一のテーマに講師をお招きしました。いつの時代においても、生きること、死ぬことは大きな命題です。しかし、現代では、これまでになかった苦悩がそこに新たに加わりました。ネットという技術革命により便利になった反面、すべてが記録・監視され、やったおこないに対する報いがもたらされる社会。そのような社会変化から、増長される生きづらさ、生きにくさ。「死にたい」「消えたい」という気持ちから多くの人が自殺する社会。かと思えば、医療技術の進歩により自然に「死ぬ」こともできない。いつ「死ぬ」のかの選択を迫られる社会。生きること、死ぬことが以前にもまして難しくなった現代社会において、いかに生き、いかに死ぬか、考えさせられる4日間でした。

学生交流 餅つき交流会

晴天に恵まれた年末押し迫った12月18日のお昼休み、学生交流餅つき交流会を開催しました。これは、日本の年中行事のお餅つきを通じて留学生と学生の交流をはかろうと学務課が企画したものです。本番に向け職員からもち米をはじめ、たくさんの物品が提供されました。当日は、調理実習室でもち米を蒸し、中庭で昔ながらの石臼と杵を使って「ペッタン。ペッタン。」とお餅つきをすると、みるみる学生たちの輪ができました。留学生も学生も杵を振り上げ、盛り上がりました。自分たちでついたお餅、お好みの味で「出来立て」を堪能しました。お昼休みのほんのひとときでしたが、このお餅つきで、大いに学生たちの交流ができたと思います。

地域の防災活動に貢献！

防災功労特別表彰受賞

2019年10月15日（火）、ロームシアター京都メインホールで開催されました「京都市自治記念式典」にて、京都市から「レジリエント・シティ京都　防災功労特別表彰」を受けました。

京都市は、自然災害や人口減少をはじめとする様々な危機に対し、粘り強くしなやかに対応し、将来にわたって人々がいきいきとくらせる、魅力と活気に満ちた都市（＝レジリエント・シティ）の実現に向けた取組を進めています。その中、花園大学では、子ども向け地域の防災イベントとして、毎年「イザ！カエルキャラバン！」を開催。地域の子どもたちへの地域防災啓発活動の功績が認められました。

子ども向け防災イベント!!

「イザ！カエルキャラバン！in はなぞのだいがく」開催！

晴天に恵まれた2019年12月15日（日）13：00～16：00、自適館にて、たくさんの子どもたちを迎え、無事に開催することができました。今年は25名もの学生が、子どもたちに防災に役立つ知識や技術を、ゲームや紙芝居などを通して伝えるスタッフとしてがんばりました。その中でも、パペット人形劇「おたま劇場」は、キャリア科目「課題解決プログラム」受講生による花園大学オリジナルシナリオ版！子どもだけで外出しているときに地震にあってしまったら？という想定で、子どもたちにも考えさせるクイズを盛り込んだシナリオを完成、披露しました。

その他、京都市中京区保健福祉センター協力による災害時クッキング試食コーナーや右京警察所協力による防犯コーナーも設けました。子どもたちは夢中になって、次々とブースを回って、かえっこポイントを集めながら、防災の知識を学んでいました。

★開催した防災体験プログラム★

- 防災カードゲーム「なまずの学校」
- 毛布で担架タイムトライアル
- 非常持ち出し品なあに？クイズ
- 家具転倒防止ワークショップ
- 防災工作室（紙食器・ビニールカッパ作り）
- 水害紙芝居
- 身近なもので応急処置
- 人形劇「おたま劇場」（花園大学オリジナルシナリオ版）
- 災害時クッキング試食コーナー（保健福祉センター）
- 防犯コーナー（右京警察署）

主催：花園大学
協力：NPO法人プラス・アーツ／中京区役所／朱八地域自主防災会／右京区役所／花園学区自主防災会／右京警察署

※「イザ！カエルキャラバン！」とは、おもちゃの物々交換（かえっこ）と 楽しくアレンジした防災プログラムを組み合わせた子ども向け防災イベントです。

花園大学&京都市中京区役所 連携・協力に関する包括協定を締結

2019年6月24日、花園大学にて、花園大学と京都市中京区役所は、連携・協力に関する包括協定の調印式を開催いたしました。この包括連携協定の目的は、大学と区役所が中心となり、学生・教員のニーズと地域の課題をうまくマッチングし、それぞれが手を取り合い連携・協力し、相互の強みを活かせる関係を構築することです。人材の交流や状況共有、地域の活性化や大学の教育・研究活動の充実にくわえ、地域が学生の活躍の場となること、また大学が地域の学びの拠点になることなど、様々なことに取り組んでいきます。

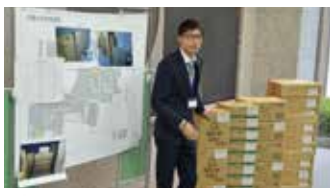
花園大学は以前より中京区の様々な活動に協力をしてきましたが、この協定締結後は連携協議会を設置し、これまでの実績を活かし、さらに多様な連携をめざします。

「地域とのつながりは大学の使命」との理念から、地域連携担当部署がたちあがって4年目を迎える今年度は、新たに花園大学らしい地域連携の在り方を確立するため、学生教職員を巻き込んだ取り組みをスタートさせていくこととしています。

花園大学の防災対策

～防災備蓄品4年目を迎えて～

阪神・淡路大震災から今年で25年が経過しました。近年は震災のみならず、台風、大雨等甚大な災害が多く発生しております。災害が発生するたびに備蓄品の話が話題に上がりますが、本学では、後援会のご支援のもと4ヵ年計画で導入した防災備蓄品が、2019年の秋、4年目の品が納品され完了いたしました。毛布や簡易トイレ、レスキューシートなどは耐久年数も長く、年々、性能も高まっています。水や食品については5年が消費期限ですが、順次入れ替えを計画しており、なかでも食品は防火訓練等で、配布や試食会を予定し、さらに防災備蓄品への周知に努めるとともに、いざ！というときに役立てていきたいと思います。



防災備蓄用品リスト

品　名	数　量	段ボール数
パン	4500個	195
水	500㎖：6000本	250箱
	2ℓ：3000本	500箱
アルファ米	3000個	60箱
ビスコ	3000個	300箱
野菜ジュース	3000本	100箱
簡易トイレ	100ケース：10000回分	大16箱・小4箱
下水道直結トイレ	3台	―
レスキューシート	750個	4箱
生理用品	8ケース：240パック	8箱
毛布	100枚	10箱

普通救命講習（AED及び応急救護講習）を受講！

2019年7月9日（火）、13：30～16：00、中京消防署　西大路消防出張所の消防署員の方にお越しいただき、普通救命講習（AED及び応急救護の講習）会を実施。新体操部、ラグビー部、硬式野球部の学生たちと教職員が一緒に受講しました。消防署員の方から、「応急手当の重要性」、「心肺蘇生法」、「AED使用方法」などについて、座学で説明を受けた後、全員が繰り返し実習を行いました。

聞いて理解したと思っていたことが、実際にやってみると、なかなかスムーズに行動できないということや緊迫した雰囲気を体感しました。学生からは、「今後のためになった。」「いざという時に役に立ちたい。」など、この講習を受けたことによって、救命への意識を変えることができ、有意義な時間となりました。

学生たちが地域で活躍!!

京北ふるさとまつり

ダンスサークルD-Swagによる「ダンスで防犯」パフォーマンス!

～右京警察との連携による地域防犯啓発企画!～

秋晴れの11月3日、花園大学ダンスサークルD-Swagの2名の学生が、道の駅ウッディー京北で開催された「京北ふるさとまつり」で、ダンスパフォーマンスを披露しました!

花園大学が連携協定を結んでいる右京警察署とのコラボ企画として、ダンスパフォーマンスを通して、地域防犯のための広報啓発活動をしたものです。子どもたちに向けての防犯啓発ソング「いかのおすし」のダンスは、いかのキャップをかぶって右京警察のみなさんも一緒にダンス!

- いか →ついて行かない!
- の →知らない車に乗らない!
- お →大声をあげる
- す →すぐ逃げる
- し →知らせる

をわかりやすくダンスで説明しました。「京北の犯罪を未然に防ぐ!」との強い気持ちをこめた堂々としたキレキレのダンスは、たくさんの観衆を魅了しました!

右京区民ふれあいフェスティバル2019

開会式典にて… 書道コースの学生が 書道パフォーマンスを披露!!

秋晴れに恵まれた11月9日土曜日、太秦安井公園で開催された「右京区民ふれあいフェスティバル2019」は、花園大学書道コース4名による、書道パフォーマンスによってオープニング!!

門川京都市長や右京区長ほかご列席者、また右京区民のみなさまの前で、この日のために揃えた黒シャツを着て音楽に合わせ、堂々とした見事な書道パフォーマンスを披露し、会場を一挙に盛り上げました。書きあげた作品は壇上に飾られ、そのあとのステージプログラムのバックを飾りました。

花園大学文学部日本文学科書道コースは、地域のショッピングモールでの書初め教室や各地で書道パフォーマンスを開催するなど、多方面で活躍しています。

大津市葛川地域でボランティア!!

葛川地域は、大津市の最北部で比良山地西の安曇川渓谷に沿った風光明媚な山間地。葛川での活動は、2016年からスタート。正式に2017年に花園大学と葛川村づくり協議会との連携協定を結んで、4年目を迎えました。

2019年は、8月の夏休み期間に8名の学生が地域の明王院を宿泊拠点にし、

- 葛川児童クラブ「みんなんち」活動運営補助
- 空き古民家の片づけや草刈り
- 地域行事への参加

など地域のみなさんとさまざまな活動をしました。

葛川児童クラブ「みんなんち」では、子どもたちの勉強を見たり、川遊びに同行したり、そうめん流しを体験したりしました。また、古民家の片づけや草刈りは、日頃慣れない作業で大変ながらも「よい体験ができた!」との感想がありました。宿泊先である明王院では、地域のみなさんと夕食の交流もあり、和気あいあいとした活動となりました。

参加した学生たちは、将来、教員を目指している面々。子どもたちと直接触れ合えるだけではなく、その保護者や子どもたちを見守る地域のみなさんとの交流も勉強になったとの感想が聞かれました。

中京区民ふれあいまつり

邦楽部、ステージ初出演!!

晴天の2019年10月20日、中京中学校グラウンドにて、『中京区民ふれあいまつり』が開催され、花園大学邦楽部が、ステージ出演をしました。花園大学が中京区民ふれあいまつりに参加するのは、今回が初めてです。中京区役所との地域連携協定のひとつとして実現しました。

演奏は、「岸辺の景色はセピア色」をテーマに3曲を披露しました。風が吹く慣れない野外での演奏にとまどいながらもしっかりと無事に演奏。演奏がはじまると、和楽器の音色にたくさん方がステージ前に集まり、特に珍しい音色に子どもたちも聴きいっているようでした。

花園大学 絵本の会

～近隣の園児さんを招待し、「花園大学 絵本の会」を開催しました!!～

日時…2019年12月6日（金）13時30分～14時
場所…花園大学拈花館 3F リトミック室
主催…花園大学地域連携&児童福祉学科

絵本読み聞かせボランティアの岸田さんから直接レクチャーを受けた児童福祉学科の学生たちが、約1か月、しっかり練習を重ね、この「絵本の会」を迎えました！元気いっぱいの近隣の園児さんが到着するやいなや、少し緊張気味だった学生たちの顔がみるみる笑顔になり、ごあいさつの後、子どもたちと手をつないで読み聞かせをするブースへ連れて行くと、会場は一気になごやかな雰囲気に包まれました。

手遊びからスタートして、小さな絵本、大きな絵本、そして途中でジャンプなどの運動やダンスも取り入れながらの30分。終始、子どもたちの笑い声やはしゃぐ姿がありました。

お帰りの時間が近づくと、児童福祉学科の学生たちが準備したおりがみのプレゼントタイム。子どもたちは、山のようにあるおりがみの中から、自分の好きなものを取りあって、大事にリュックにしまっていました。子どもたちも学生たちも名残を惜しみながら、お礼のごあいさつ。ハイタッチやだっこをして、大きく手を振りながら帰っていきました。

学生たちにとって、実践の場となった「絵本の会」。勉強になったとともに、子どもたちと触れ合えるまたとない機会となりました。

「山国・壬生」歴史を学ぶ交流会 サポート活動を実施！

8月4日(日)京都市右京区京北で開催された「"山国・壬生"歴史を学ぶ交流会」に、花園大学の学生2名がサポートスタッフとして参加しました。

壬生(下京区第34学区)は、「維新勤皇隊」として時代祭に参加していますが、その前身となったのは京北の山国隊。当初は山国隊が時代祭に参加していました。その縁により、昨年から交流会がスタートしました。花園大学は昨年からこの交流会のサポートをしています。

今年も壬生の小学生が京北山国を訪問。山国と壬生地域についてのお話を聞いた後、アスレチックや川遊びを楽しみ、お弁当を食べて、石窯でデザートピザ焼き体験を行いました。壬生地域の子どもたちは、田舎の遊びに夢中！

参加した学生2名は、子どもたちの遊び相手になりながら、子どもたちの活動をサポートしました。学生の周りにはいつも子どもたちでいっぱい。学生もこのサポート活動を通じて、勉強になったことと思います。

右京区

学生選挙サポーター活動報告

～若者リーダーフォーラムin名古屋にて講師をしてきました～

右京区学生選挙サポーターは右京区選挙管理委員会と協力し、右京区内の小学校や支援学校での選挙出前授業や選挙時啓発、選挙に関わるイベントやフォーラムの参加などを継続して行っています。10月19日、20日に名古屋で開催された若者リーダーフォーラムで、村瀬、溝端、岡田が選挙出前授業の事例報告をしました。

ベターな候補者を選ぶ選挙劇や質問タイム、実際の選挙で使用する機材を用いた模擬投票、判断の基準を議論するグループワークをポイントとして発表しました。実際の選挙でも話題になる公約を使う選挙劇や判断の基準を考えるグループワーク、保護者の方にも一緒に考えてもらうことのできる振り返りシートなど、選挙啓発を行う参加者の方々から高い評価を受けました。

さらに、12月9日には京都府・綴喜地域の明るい選挙推進共同事業の「白ばら研修会」で村瀬と溝端が講演を行い、参加者に選挙劇と模擬投票も体験をしていただきました。

右京区学生選挙サポーターのアドバイザー、中善則先生から「この秋は、これまでの活動が評価されて、名古屋と綴喜地域で、学生が講演会の講師を務めました。本学の学生が、全国各地から注目される程の質の高い活動をしてくれること、本当に嬉しいです」というコメントをいただきました。このような貴重な講演の機会も含めた私たちの活動が、未来の有権者を含めた、たくさんの方々に政治や選挙について考えてもらえるきっかけになるよう、今後も活動を続けていきたいと思います。

マチビトが集う、出会いと交流の場！

中京マチビトCaféに花大生が継続参加

中京マチビトCaféは、区民主体によるまちづくり活動を創出する場です。年に3回、平日の晩に中京区役所で開催されています。中京区内でまちづくりに取り組む人=“マチビト”を対象に、ワークショップ形式による対話を通じて、新たなまちづくり活動の創出が図られています。開始から8年間で述べ2,263名が参加し、多くのつながりと取り組みが生み出されています。

今年度からは、中京マチビトCaféに多くの花大生が継続して参加しています。6月の回には、子ども食堂や学習支援等に取り組む学生サークル「京都Tera.Coya」メンバーや「住民主体のまちづくり」をテーマとする深川ゼミ3回生の計11名が参加。関心あるテーマのテーブルに集いながら、学生たちも多様な参加者と積極的に意見交流を図りました。その結果、「地域の方々と花大生の連携よる子ども食堂の実施」というような地域と大学の連携に関するアイデアも生まれ始めています。その他にも、参加した学生から「地元に戻ったら、こんな交流の場を作りたい」という声もきかれており、フィールドへの参加が学生たちの主体性を引き出す貴重な機会となっています。

2019年度 イベント報告 ～2020年度もいろいろなイベントを開催します！～

京都山国展
～維新勤王山国隊と山国神社の至宝～

2019年10月5日（土）・6（日）の両日、ウィングス京都（京都市男女共同参画センター）にて、京都山国展を開催。実施にあたり、花園大学が協力をしました。展示は両日で430名、特別講演は170名の来場者をお迎えしました。

特に10月5日（土）は、花園大学文学部日本史学科教授　松田隆行先生、明治学院大学教養教育センター准教授　吉岡拓先生による特別講演会が開催されました。会場はあっという間に埋まり、熱気のある特別講演会となりました。展示は、山国地域に残る貴重な古文書や歴史的資料をゆっくりとご覧いただけるように配置。熱心に質問をされる姿もあり、展示会場も来場者が途絶えることがない盛況ぶりでした。

花園大学からは、学生サポートスタッフ4名が会場整理、誘導係として参加しました。

また人形の山国隊員と肩を並べて写真撮影できるコーナーもあり、順番に写真を撮る様子も見られました。

主催：京の暮らしの文化普及啓発実行委員会、京都市右京区役所京北出張所
協力：花園大学、山国隊軍楽保存会、山国荘調査団、京都市歴史資料館、大日本印刷株式会社、株式会社サビア

2019年度 地域連携講座 まなび庵　全5回

時 間　18:00～19:30 ／ 場 所　教室

回	日付	タイトル	講師
第1回	6/27（木）	Let's　写経講座 ～こころを整える～	小川太龍先生 （文学部仏教学科専任講師）
第2回	7/22（月）	カルタde禅語講座 ～禅のことばに親しむ～	関守研吾先生 （文学部仏教学科非常勤講師）
第3回	10/8（火）	ムーミンで英語を学ぶ講座 ～大人向けムーミンコミックスの世界～	秦美香子先生 （文学部日本文学科准教授）
第4回	11/12（火）	和菓子の文化を楽しく学ぶ講座 ～奥深い和菓子の世界へようこそ～	千田眞喜子先生 （社会福祉学部児童福祉学科教授）
第5回	12/5（木）	本当は身近な家族の心理学講座 ～磯野家・さくら家・野原家に学ぶ～	丹治光浩先生 （学長・社会福祉学部臨床心理学科教授）

以上、地域のみなさんの学びの場として、多彩な5講座を開催しました。

特に、第1回「Let's　写経講座」、第4回「和菓子の文化を楽しく学ぶ講座」は、実際に写経にチャレンジをしたり、花園大学茶道部和敬會の協力のもと、和菓子とお抹茶を楽しんでいただいたり、体験できるプログラムを開催、どの講座もほぼ満席となる盛況ぶりでした。

2020年度も引き続き、地域連携講座《まなび庵》を開催いたします。後援会のみなさまもどうぞご参加ください。

花園大学 公開講演会

■主催：花園大学同窓会・花園大学

明智光秀の実像に迫る

2019年11月30日、花園大学無聖館5Fホールにて、500名収容のホールが満席になるほどの来場者に足を運んでいただき、花園大学公開講演会「明智光秀の実像に迫る」を開催しました。

講師は、『図説　明智光秀』など、光秀に関するご著書を多数ご執筆されている、東洋大学文学部史学科非常勤講師の柴裕之先生と、花園大学文学部日本史学科専任講師の生駒孝臣先生、司会進行・コーディネーターは、同じく文学部日本史学科教授の松田隆行先生が務めました。生駒先生は、「明智光秀と京都」と題して、光秀の今日のイメージからスタートし、主に「京都」に焦点をおいて光秀の足取りを追いながらその実力と人柄に触れる講演をされました。休憩をはさんで、柴先生が「織田信長と惟任（明智）光秀」と題して、惟任光秀の前半生、足利政権、信長との関係、織田家での活躍、そして謀反への道について、地図や家系図、古文書などからわかりやすく講演されました。

明智光秀は、2020年度NHK大河ドラマの主人公。主君、織田信長を討った逆臣として語られてきた明智光秀が本当はどのような人物であったのか？史料や家系図、地図などによって、多方面からスポットライトをあて、その実像に迫る白熱の4時間でした。また質疑応答の時間も、質問が絶えることなく、講演終了後も、講師のもとへ駆け寄る姿も見られました。

京都学講座

毎年恒例「京都学講座」、今年は20回目を迎えました。2019年度の京都学講座は、平成から令和の時代へ転換期の今、京都を軸にして、宗教・文学・日本史の視点から時代の転換期について、9月7日・8日の2日間、1日2講座構成、計4講座を開催しました。

会場は、前のめりで受講する姿、資料にメモをとる姿にあふれ、講演が終わった後も質問の列ができるなど、各講座ともに盛況となりました。来場者は2日間で延べ350名。関西以外の遠方からも多くご来場いただきました。

テーマ：『時代の転換と京都』
会　場：花園大学無聖館5階ホール

9/7（土）

13:00～14:30
「近世京都の人々と改元」
吉野健一氏
（宮廷文化研究家・京都府教育庁文化財保護課職員）

14:50～16:20
「野間宏と京都」
高橋啓太氏（花園大学専任講師）

9/8（日）

13:00～14:30
「信長と京都 宿所の変遷からみる」
河内将芳氏
（奈良大学文学部教授）

14:50～16:20
「明治期の相国寺」
藤田和敏氏
（相国寺寺史編纂室研究員・花園大学非常勤講師）

2020年度も京都学講座を開催致します！

ラグビーワールドカップ日本代表 アマナキ・レレイ・マフィ選手凱旋セレモニー

「2019ユーキャン新語・流行語大賞」の年間大賞に選ばれた『ONE　TEAM（ワンチーム）』。この言葉は、日本で開催されたラグビーワールドカップ（W杯）でベスト8に進出した日本代表のチームスローガンです。その日本代表として活躍したアマナキ・レレイ・マフィ選手は、花園大学の卒業生。2015年開催のワールドカップでも活躍しました。

2019年11月11日お昼休み、立ち見が出るほどの満員の教堂へ、割れんばかりの大きな拍手と歓声の中、マフィ選手が登場！まず挨拶にたった丹治学長は、海外出張先で大学紹介をする際、京都のことや禅の説明をするよりも、マフィ選手が花園大学卒業生であることを話した方が、皆さんの反応がよかったというエピソードを交えながら、ワールドカップでのマフィ選手の活躍を労い、また今後のさらなるご活躍を祈念しました。

マフィ選手を育てたラグビー部、川勝総監督・江森監督は、今回のワールドカップでの負傷に触れ、ケガがないようにといたわりの言葉をかけておられました。その後、花園大学スポーツ賞と花園大学同窓会から賞金の授与がありました。マフィ選手は、湧き上がる拍手の中、「ありがとうございます。今回はけがであまり活躍できず悔しい気持ちもあったが、次の大会に向けて万全の準備をして、がんばります！」と強い決意を聞かせてくださいました。その後会場からの様々な質問に対して、会場を笑いに誘うコメントも交えながら、終始にこやかに答える姿は、試合で見せるその激しい姿からは想像がつかないほどでした。

最後に会場のみなさんで"マフィー!"をかけ声とともに記念撮影。セレモニー終了後は、サインや写真撮影に長い列ができましたが、最後まで笑顔でやさしく接してくださいました。

応援ソングを胸に…目指すは金メダル！

パラリンピック柔道・廣瀬順子選手

昨年、柔道の恩師を通じ、同じ花園大学出身のシンガーソングライター、ちひろさんと出会いました。同じ大学の卒業生だけでなく、同じ山口県出身というご縁もあり、2020年東京パラリンピックへむけての応援ソングを作ってくださいました。

歌のタイトルは「自分に出逢うために」。この歌を聞くと、初心を思い出し、試合前のプレッシャーに負けそうになった時にも、心を落ち着け、自分らしく頑張ることができます。

今、私は同じ競技選手でもある夫とともに、2020年東京パラリンピックへの夫婦での出場、そして金メダル獲得を目標に頑張っています。ちひろさんの応援ソングはもちろん、皆様の声援が私たちの大きな力となります。精一杯頑張りますので、皆さん応援よろしくお願いします！

ちひろ
（シンガーソングライター・ラジオパーソナリティ）
花園大学文学部社会福祉学科（現：社会福祉学部社会福祉学科）卒業。山口県山口市出身。金子みすゞの詩に作曲し歌い語る"メッセージシンガー"。

この曲は廣瀬選手が柔道と向き合い、悩み、そして苦しんだ先に、本当の自分に出逢えたという想いを込め作りました。廣瀬選手、栄光へ向かって全力で頑張ってください！

クラブ・サークル探訪

Go! Fight!Hanazono!

―夢・目標・輝く学生たち―

ダンスサークル

京北ふるさと祭りで躍らせていただきました！

花園大学ダンスサークルのD-swagです。現在、部員数16名という少人数で活動しています。もちろん、中にはダンス経験者もいますが、大学に入学してから始めた初心者が半数以上です。ダンスのジャンルはHIPHOP、GIRLS、JAZZ、BREAKなどです。

私たちが普段どのような場で活動させて頂いているのかというと、外部から依頼を頂き、様々なイベントや花園大学の学園祭に出演させて頂いています。昨年2019年には、京都府右京警察の方からのご依頼で、京北ふるさと祭りに出演させて頂きました。そこでは「いかのおすしダンス」とDAPAMPの「P.A.R.T.Y～ユニバース・フェスティバル～」を踊り、地域連携の取り組みに参加しました。また、社会福祉法人のみんななかまの方からのご依頼で、「U.S.A」を施設の子どもたちと約3ヶ月間、一緒に練習し、イベントで楽しく躍らせて頂きました。そんな活動の中で、D-swagが一番大切にしていることは、とにかく仲間とダンスを楽しむことです。普段の練習でも、とにかく笑いが絶えないサークルだと思います。

今後のサークルの展望と致しましては、ダンスサークルをより大きくするため、コンテストやイベントに沢山参加していきたいと考えております。皆様の温かいご支援と応援、よろしくお願い致します。